（For School teacher）

Form 5

平成 22 年 11 月 10 日

サイエンス・ダイアログ事業　実施報告書

1. 参加機関（学校名）・担当者: 愛知県立瑞陵高等学校　高棄範子

2. 参加研究者: Rizalita R. EDPALINA 博士　金沢大学

3. 実施日時: 平成 22 年 11 月 10 日（水）　14 : 10 ～ 16 : 00

4. 参加生徒: 2 年生 38 人、 ___年生 ___人、 ___年生 ___人（合計 38 人）
備考:（例:理数科の生徒）202 コスモサイエンスコースの生徒

5. 講演題目: （英文） Understanding Marine Biodiversity and Ecosystems Research

（和文） 海の生物の多様性と生態学的研究における理解

6. 講演概要: [前半] 講義　・母国フィリピンの話　・科学者になった理由
・研究分野の生物学について
[後半] 生徒実験　・顕微鏡を使用した淡水プランクトンの観察
講義については、内容に関する通訳はなく、すべて英語によるもの。生徒の英語での自己紹介と質疑応答にも答えて頂いた。

7. 使用言語: 英語

8. 講演形式:
（1）講演時間 約 100 分　質疑応答時間 約 10 分

（2）講演方法（例:プロジェクター使用による講演、プレ実験など）
プロジェクター使用による講演、生徒実験

（3）通訳（例:受入研究者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明）
JSPS 米原 遊 様

協力者 職・氏名

（4）事前学習時使用教材（事前学習を行った場合のみ）
プロフィールを事前に送付頂いた。

9. 支給経費:　□交通費　□宿泊費　□謝金

10. その他特筆すべき事項: